

ふじた未来入学試験 ビジョン 12(課題レポート)



あなたの未来目標とそれを実現するためのビジョンを記入してください。

【未来目標】

卒後 15 年目には国際的にもある程度認知されたがん研究者となると同時に優れたがん治療医として活躍したい。

【未来目標から遡る実現プラン】

卒後 10 年目～：国内外大学病院・研究所で研究・臨床をトップレベルで遂行する。

卒後 6 年目～9 年目：海外の世界トップの研究所・大学で研究・臨床に従事し世界レベルの業績をあげる。

卒後 5 年目：これまでの研修成果をまとめ大学院を早期修了し学位を取得する。

卒後 3 年目～5 年目：大学院に進学しさらなる研究成果をあげると同時に専門研修を完遂させる。

卒後 1 年目～2 年目：藤田医科大学病院で基礎研究医コースを選択し臨床研修医として幅広く研修を行うと同時にこれまでの研究を完成させる。

学部 6 年生：前期は海外の研修病院での臨床実習を行う。後期からは国家試験対策と同時にこれまでの研究のまとめも行う。国際一流紙への第一著者としての論文公表を行う。

学部 4 年生後半～5 年生：参加型臨床実習において臨床研修医レベルの習得事項を先取りして習熟。特別指導を受ける診療科でのサポートによる先取り研修および研究も継続して行う。

学部 3 年生～4 年生前半：がん研究に関する研究を遂行し成果発表を行う。研究室配属期間は関連する海外の研究室での研修を行う。また将来専攻する診療科を決め特別指導を仰ぐ。

学部 2 年生：student researcher として積極的に研究を行う。海外での研究・研修に備えて英語によるコミュニケーションスキルをあげる。

学部 1 年生：広く学内の研究室・診療科に興味を持ち将来の自分の目標を確定していく。志望するがん医療に関連する基礎医学研究室に student researcher として参加する。

※A4用紙1枚にまとめてください。